

NO. 112

泉南走ろう会

先づ 泉南スポーツ社
連絡先
0724(83)4653

” 師走に思う ”

会長 達健三

激動の昭和も終わり、平成元年、平成二年となり、その平成二年も残り少なくなりました。

世情は平成、平穏でなく、中東湾岸危機から、毎日のように殺伐な事件、犯罪そして痛ましい交通事故、世の中はどうも狂っている。この先どうなるのか。明るいニュースとして日本人初の宇宙飛行がありました。その前に天皇の即位がありました。だが、これとても、世情騒然、決して明るい世の中でもありませんでした。

このとき、私達はどうか生きて行くべきか、明るい気持ちで生き生きとした生活を送るには、先ず健康、家庭の円満、一家の団欒ではなかつかと思えます。それには、我田引水、単刀直入にのべさせてもらえば、ランニングを続けることです。

私ほ去る日、二泊三日のウオーキング大会に参加いたしました。参加者は北は北海道、函館から南は山口県から参加しておりました。この人達の家族はどうしているのでしょうか。参加する人も後に残る家族も安心しておられるから、途方もない延々一三五千キロのウオーキングの大会に参加出来るのです。そしてゴールすると待ち構え

ていた家族と抱きあて喜びを分かちあていました。

ランニングを続けること、これは大変なることです。人は私によく言う「あんたは長生しようと思つて走っているのですか」「あんたは暇だから走っているのですか」。私はゆげの人も「言うが、言うが」と答える。ときには「バルセナのオリンピックに出るのや」と返事する。

私にとつてランニングはなんなのか、健康のためか。それもある。そして可能性への挑戦です。新しいものへのチャレンジです。師走のこととて書類の整理しているとき、磯岡のバックナンバーが出てきました。それにはN先生の「篠山マラソンを走りたい」として面白いビルがのめたい」と記事がありました。この先生は昭和六十二年も平成元年も足の故障のため駄目。また海外にも遠征されましたが失敗。それにもめげず、本年三月の篠山を無事ゴールさせ、完走証のTシャツを持って更衣室に入ってきたりましたのは、私には印象的でした。また、先にゴールされておりましたK先生には立派な好タイムと思われ、本人には納得の行かない、不満足なタイムなのか、憤然として、そくそくに荷持をまとめておられました。そしてM先生、Aさん、好タイムにてゴール、M先生サブスリー寸前、非常に惜しい。しかし本人はあきらめ、また来年もあるさという気持ちでしまふか、M先生、Aさん、もう篠山には何度か参加。篠山マラソンに参加する方々のあつことなき、可能性への挑戦の姿には心を打たれます。

私には今年も走つて走つてこの一年ですが、六甲金山縦歩も、山笠島ハーフ、富士登山レース、神鍋ハーフ、みな苦しかった。でもアイワイ、ガヤガヤ言つて皆さんとレースに参加し、楽しかった。泉南走ろう会、皆様の皆様の職業の違う人達がランニングという共通の場を持つて、人とのつながりを大事に行動を目標に向つての生活が、毎日を生き生きと通させます。新しいものに関心を持ち、チャレンジすることが、日常生活、職場において創造力、判断力、総合力を養つとか、人生の生き甲斐を豊かにする。一年を振り返り師走に思う今日この頃であります。『継続は力なり』可能性への挑戦。来年もよき年でありませうように皆様頑張りませう。

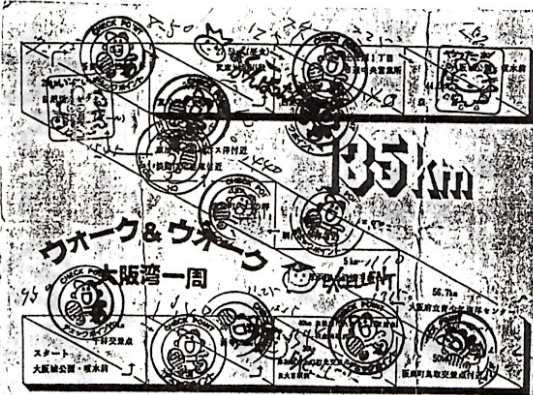


「カークス・マーク大阪湾一周」

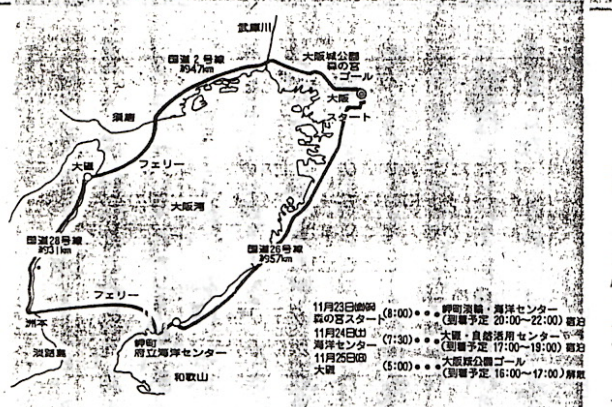
参加して(湾岸危機)

湾岸危機と言えども中東の問題ではありませぬ。御安心下さい。でも湾岸危機がやってきました。昨年私に急用があり、才目日に参加取り止め。細井さん二日目に参加中止。それで今年こそはと楽しみにしておりました。細井さん大会実施一月前に体が不調。まさに危機だ。あんなに楽しみにしておられたのに、参加断念。この私、実施十日前に風邪、医師より「参加中止した方がよい」と思う。それでも行きたいならば、何時でも中止するようにと注意される。そして、葉四日分の処方を受ける。この大会は才目日は大阪城より岬町海洋センターまで五七キロ、二日目は海濱と多より淡路島岩屋まで三三キロ、三日目は須磨より大阪城まで四五キロ。上級者は一時間六キロペースで、初め者は一時間五キロペースで一三五キロを歩く大会です。

前日に私荷物を入り込ませる。葉どうしようから。粉葉から水葉まで



「スパン、私から一三五キロ歩くという人がこんな葉を持て行てたまるかと葉をパッキングより外す。そして何時もの常備葉だけ持参する。これが失敗、海洋センターにて八人相部屋になったが、私が夜中、朝がた、咳込んで眠れない自分はまだ我慢出来るが、相部屋の人にすまな、早速翌日、深目港前葉局にて咳止葉を購入する。来る時、爪を切てないから、靴下が破れる。それで爪切を購入、靴下は参加前々日に京南スナック店にて、あつてもない、ミフでもないと、厚目の靴下を購入持参する。それでも履きながら、いかり多かた不安だ。やれやれ湾岸危機だ。でも結果は私が大阪湾一周と来た」といって、「ト、フ、モデル」したの、ヤロと私が湾岸の話をするまで、も、なく、話しの海と折る悪い人がある。(それは誰でしょう、私はあの人に、だ、はフルに負けたくない、その通り、快調に振舞い、一日、目、目、参加者三〇名の驚異のゼッケン七五番の私です。なんの為に、こんなことすよめか、順位もタイムも競うものでもないの。



誰でしょう、私はあの人に、だ、はフルに負けたくない、その通り、快調に振舞い、一日、目、目、参加者三〇名の驚異のゼッケン七五番の私です。なんの為に、こんなことすよめか、順位もタイムも競うものでもないの。

それは「可能性への挑戦です」。「自分自身の戦いです」。こんなボケ老人でもやるのですから、会員の皆様、来年は是非、大阪湾一周に参加しましょう。夢とロマンを追って。ホテ老人より

完歩証

遠征三殿

あなたは1990年度「大阪湾一周ウオーク&ウオーク」において、日ごろ鍛えられた脚力と精神力をいかに発揮され、135キロメートルを完歩されたことを証します。

1990年11月

(財)大阪青少年活動振興会

ニュース

泉南市オ六回ミニマソン大会に

参加して

この大会は、今年はどうしたものが泉南走ろう会との関わりはうまくゆかなかつた。前日、石橋さんより会員の皆様にご呼びかけて下さったのですが、皆さんそれぞれ都合があり、残念参加が少なかつた。それでも会より岡田さん、宮下さん、石橋さんのお嬢さん、そして私。応援に畑井さん。当日走らなかつたものの真鍋さん、急に体が不調、応援参加。特筆すべきことはこの大会に初めて参加の岡田さん、一般部五五五五五五に才四位とならぬか。宮下さん、好タイムにゴール。石橋さんのお嬢さん、小笠原さんとペアを組んだお嬢さんは才五位。これが面白い。ファミリーの部参加賞があるが、入賞の賞品がないと、どこでどうなつたのか。そのように私が聞きまわつたので石橋さんのお嬢さんが早く走らうとするが、私は走らないように促さないと、早く走らなかつた。何んと、後で賞品があつた。こんなことなう始めからいふのはせよかつたと思ひます。走る気のない石橋さんのお嬢さん「かんにん」会員の皆様にもこの大会、余り無理して走らないように。お嬢さんは車のフルをねらうのだからと言つたのを、すまな

く思ひます。来年は、それはそれなうば大会前日に試走等して、この大会に泉南走ろう会、ここにありと示したいと思ひます。(とは言つても会場でもと泉南走ろう会とともに走つた方々と、あちこちでお会いし、うれしく思ひました。走らう会は、入賞とどこで生きておらうかと思ひました。



(備考)忘年会のみ参加大歓迎。奮って御参加を。人とのつながり大事にしましょう

お知らせ

一例会 十二月二十三日

集合 泉南市体育館

午前九時

一コース 体育館→オ六回和国道側道→

→櫻井川→新家駅→青年の森

→お菊山→高倉林道→砂川駅

→体育館(約十八キロ三時間)

※車道あり、林道あり、アスファルトあり、えげつないウルトラコースです。いやになる。

でもゆっくり走りましょう。楽しく。

一七年会

1. 午前十二時よりNTT横中華料理「北京」にて例会ラウンド

終了後行ないます。

(十二月二十三日)

口金費 三,〇〇〇円程度

八、案件

一、走らう会を責め平成二年度収支報告(忘年会に参観できなかった方には一月号機関紙にて報告)

二、恒例泉南駅伝参加にまつて

三、平成三年度分、会費徴収一ヶ月

二〇〇円計二四〇〇円。

忘年会参加できない方々徴収

四、その他来年度行事予定等